

令和3年度の防災関連事業計画について（ハード事業）

1 治水対策事業

■雨水ポンプ場改築事業

予算額 447,600千円

ポンプ場の改築及び更新事業を行う。

堀江ポンプ場	：改築及び更新工事	事業費	202,600千円
豊田川ポンプ場	：改築及び更新工事	事業費	245,000千円

■幹線管渠整備事業

予算額 299,309千円

区分	計画延長	令和2年度末	令和3年度	令和4年度以降
土田排水区	□2.4m×1.2mほか L＝約484m	L＝約106.6m 占用物件移設補償	L＝約87.0m 占用物件移設補償	L＝約290.4m 占用物件移設補償
水場川右岸排水区	□2.7m×2.7mほか L＝約300m	詳細設計	L＝約50.2m 占用物件移設補償	L＝約249.8m 占用物件移設補償

■清洲橋架け替え工事【県事業】

<工事概要>

- 事業主体 愛知県尾張建設事務所
- 工事場所 朝日地内～一場地内
- 工事時期 平成29年11月から7年間を予定
- 路線名 主要地方道 名古屋祖父江線（清洲橋）
- 橋長 約70m（現在の橋は約50m）
- 幅員構成 左岸交差点部に右折車線を設置、有効幅員3.0m（両側）の歩道を確保

2 公共施設の耐震化事業

■橋梁改良費

予算額 12,500千円

水場川改修事業に伴って実施する白弓橋の架け替え工事で、耐震基準を満たす橋へ3年計画で実施する。

過年度において既設橋撤去、右岸側の下部工の整備が実施済みであり、3年目に当たる令和3年度は橋面舗装および取付工事等を実施する。

【現在の施設概要】 白弓橋 所在地／春日白弓地内

	現在	架け替え計画
延長	14.0m	18.6m
幅員	6.5m歩道なし	12.5m両側歩道有り
構造	コンクリート橋	鋼橋
耐震性	無	有
架設年度	昭和49年	令和3年10月完成予定

■橋梁維持補修費

予算額 10,000千円

上条橋について、耐震補強及び補修工事を行う。

【施設概要】 上条橋 所在地／上条

延長：10m 構造：コンクリート橋 架設年度：平成2年

【改修内容】 橋梁耐震補強補修工事

伸縮装置取換え工、舗装工、ひび割れ補修工など

3 避難所関連事業

■校舎長寿命化等改修事業

予算額 532,433千円

学校施設の安全性を確保し、機能向上を図るため、清須市学校施設長寿命化計画に基づき、工事優先度の高い建築後40年以上経過した校舎から順次、長寿命化改修を実施する（令和3年度までに、市内の小中学校全ての長寿命化改修が完了予定）。

長寿命化改修工事の実施設計（令和2年度策定）に基づき、清洲東小学校及び桃栄小学校の改修工事を行う。

■学校屋内体育施設空調設備設置事業

予算額 24,629千円

近年の災害的猛暑に対し、児童・生徒、災害時においては避難者が快適に過ごせるように、屋内体育施設に自家発電設備を備えた空調設備を設置するための設計を行う。

4 防災センター整備事業

■（仮称）五条川防災センター整備事業

予算額 7,535千円

五条川の右岸側には防災資機材等備蓄施設としての機能を持った施設がないことなどから、旧清洲庁舎跡地に指定緊急避難場所、指定避難所及び防災資機材等備蓄施設としての機能を有する防災センターを整備する。

令和3年度は整備に係る基本設計を実施し、令和5年度末の竣工を目指す。

令和3年度の防災関連事業計画について（ソフト事業）

1 自主防災組織強化事業

■自主防災活動支援費

予算額 7,480千円

自主防災活動を活性化し、防災力の向上を図るため、ブロック等への支援を実施する。

(1) 自主防災組織補助金（令和3年度～令和5年度の3か年で実施）

【内容】

ソフト事業…手づくりハザードマップの作成、研修会・講演会への参加・開催

ハード事業…消火器等の新規購入や買替、防災資機材の購入

【補助限度額】50万円

【補助率】4/5

(2) 消火器の消火薬剤詰め替え費補助金

訓練や消火活動に使用した消火器の薬剤の詰替に係る費用の補助

【補助率】100%

2 防災訓練

■総合防災訓練（令和3年9月4日（土））

予算額 1,617千円

会場：庄内川水防センター周辺

訓練内容：被害状況収集訓練、倒壊家屋救出訓練、救護所設置訓練、給水訓練、HUG訓練、炊き出し訓練等

参加機関：西春日井広域事務組合消防本部、市消防団、防災協力会、自衛隊、赤十字奉仕団、自主防災会等

■自主防災訓練

安心して暮らせる事業 200円×世帯数

3 地域防災リーダー養成講座

■地域防災リーダー養成費

予算額 471千円

災害の被害を最小限に食い止め、地域防災力を向上させるため、地域における防災リーダーを養成する。地域の自主防災活動を通じて、防災・減災活動（危険箇所の把握等）を行っていただき、特に災害時には、避難所の運営に率先して携わっていただく人材を養成することを目的とする。

また、過年度の地域防災リーダー養成講座の修了者を対象にフォローアップ講座を行う。

○養成講座

【第1回】

日時：令和3年5月9日（日）午前9時～正午

内容：講義及びグループワーク

講師：認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード 浦野 愛 氏

【第2回】

日時：令和3年5月15日（土）午後1時30分～午後3時30分

内容：防災講演会

【第3回】

日時：令和3年7月4日（日）午前9時～正午

内容：講義及びグループワーク（避難所運営訓練 [HUG]）

講師：認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード 浦野 愛 氏

○フォローアップ講座

【第1回】（養成講座の第2回と共通）

【第2回】

日時：令和3年11月28日（日）午前9時～正午

内容：講義及びグループワーク

講師：認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード 浦野 愛 氏

4 耐震診断・耐震改修等事業

■民間木造住宅耐震診断費

予算額 1,888千円

地震による家屋の倒壊等の被害を軽減するため、昭和56年5月31日以前に着工された旧基準民間木造住宅の無料耐震診断を実施する。

計画戸数：40戸

診断内容：現地調査、一般的補強アドバイスと改修工事を行うときの目安となる工事費の説明

■民間木造住宅耐震改修費補助金

予算額 8,000千円

地震による家屋の倒壊等の被害を軽減するため、昭和56年5月31日以前に着工された旧基準民間木造住宅の耐震化を支援する。

計画戸数：8戸

補助対象：判定値が1.0未満⇒1.0以上かつ判定値を0.3以上引き上げる耐震改修工事等

補助限度額：100万円（身体障害者手帳の1・2級又は療育手帳のA種の方が世帯にいる場合は130万円）

■民間木造住宅除却費補助金

予算額 2,000千円

地震による人的被害等の軽減を図るため、耐震診断の結果「倒壊する可能性がある（可能性が高い）」と判定された木造住宅（昭和56年5月31日以前に着工された旧基準民間木造住宅）に対して、住宅の取り壊しにかかる費用を支援する。

計画戸数：10戸

補助対象：判定値が1.0未満の旧基準民間木造住宅の除却工事

補助限度額：20万円

■耐震シェルター・防災ベッド購入補助

予算額 1,500千円

木造住宅の1階に安全な空間を確保するために設置する、耐震シェルター・防災ベッドの設置費用を補助する。

○耐震シェルター：補助限度額30万円×3件

○防災ベッド：補助限度額30万円×2件

※補助対象等の詳細は、愛知県の補助要綱等を参考とする。

■住宅耐震改修相談会

予算額 61千円

愛知建築士会会員を相談員として、耐震改修に関する相談会を開催する。

日時：年1回（令和3年10月頃） 午前10時～午後5時

会場：市役所北館相談室

■民間ブロック塀等撤去費補助金 予算額 2,000千円

災害時における避難路の確保や減災、安全確保を目的とし、安全なまちづくりを推進するため、ブロック塀等の撤去に対し補助を行う。

計画件数 : 10件
補助対象 : 市道等(認定市道、赤道、公共施設)に接道(接道部からブロック塀までの距離がブロック塀の高さ以内)するブロック塀等の撤去にかかる費用
補助限度額 : 20万円

■空家解体促進費補助金 予算額 2,000千円

老朽化による危険な空家等の解消により、地域の安全・安心と良好な生活環境を確保するため、倒壊又は建築材等の飛散のおそれのある危険な空家等の解体にかかる費用を支援する。

計画件数 : 10件
補助対象 : 空家を1棟全て除却し、運搬し、及び処分する解体工事にかかる費用
補助限度額 : 20万円

5 備蓄物資の整備

■備蓄食糧購入費 予算額 4,662千円

- クラッカー : 9,800食
- ビスコ : 5,100食
- おこげ : 1,800食
- おかゆ : 2,400食
- 粉ミルク : 960回分
- 飲料水 : 2,880本

6 危機管理体制強化事業 予算額 6,426千円

危機管理や災害応急対応のスペシャリストである自衛隊OBを雇用する。

- 勤務体制 週5日(37.5時間)
- 主な業務 災害発生時…災害対策本部の運営(自衛隊関係機関との連絡調整業務)
- 危機管理…危機管理体制の見直し(地域防災計画、業務継続計画)
- 災害対処…自主防災組織活性化業務(自主防災訓練指導など)